

## 第9章 作業部会

クジャク対策について専門的知見をもとに検討を進めるため、有識者を含めた作業部会を開催し、意見交換をした。作業部会の概要を以下に示す。

### 9.1 第1回作業部会の概要

#### (1) 作業部会出席者

第1回作業部会の出席者を表9.1に示す。

表9.1 クジャク対策作業部会出席者

氏名	所属
委員	
金城 道男	沖縄フィールドワーク 代表
髙原 建二	沖縄野鳥研究会 会員
田中 聡	希少野生動植物種保存推進員
戸田 守	琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授 (欠席)
沖縄県	
比嘉 学	沖縄県環境部自然保護課 班長
比嘉 才蔵	沖縄県環境部自然保護課 主任
事務局	
福原 亮史	株式会社南西環境研究所自然環境室 次長
浅利 祐美子	株式会社南西環境研究所自然環境室 主任
峯 光一	株式会社南西環境研究所自然環境室 主任
大橋 史葉	株式会社南西環境研究所自然環境室 研究員

#### (2) 開催日時および場所

日時:平成30年8月10日(金) 17:00~19:00

場所:沖縄県男女共同参画センター「ているる」研修室3 (沖縄県那覇市西3-11-1)

### 9.2 第2回作業部会の概要

#### (1) 作業部会出席者

第2回作業部会の出席者を表9.2に示す。

表 9.2 クジャク対策作業部会出席者

氏名	所属
委員	
金城 道男	沖縄フィールドワーク 代表
嵩原 建二	沖縄野鳥研究会 会員
田中 聡	希少野生動植物種保存推進員
戸田 守	琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授
沖縄県	
比嘉 学	沖縄県環境部自然保護課 班長
比嘉 才蔵	沖縄県環境部自然保護課 主任
事務局	
福原 亮史	株式会社南西環境研究所自然環境室 次長
峯 光一	株式会社南西環境研究所自然環境室 主任
石田 憲	株式会社南西環境研究所自然環境室 主任
オブザーバー	
青山 夕貴子	一般財団法人沖縄環境科学センター

(2) 開催日時および場所

日時:平成 31 年 1 月 31 日(月) 14:00~16:00

場所:沖縄県市町村自治会館 4 階第 5 会議室

卷末資料 1

事業概要



## 平成 30 年度外来種対策事業（クジャク対策）概要

沖縄本島および離島においては、様々な外来種が侵入しており、在来生物の生息に多大な影響を及ぼしている。特に、生態系被害防止外来種リストにおける緊急対策外来種については、生態系へ著しく悪影響を及ぼすとされている。緊急対策外来種のちインドクジャク（以下、「クジャク」という。）については県内で一部定着が確認されており、本県生態系の脅威となりつつある。外来種対策については、外来種被害防止行動計画等で早期対策の重要性があげられていることから、すでに本県に侵入し、定着しているインドクジャクについて、今後の防除等を円滑に進行するために、生息範囲の調査および効率的な捕獲手法の開発を行う。平成 30 年度事業では、モデル地区（黒島）において新たな防除・捕獲手法の開発・実証を進めることを目的とした。

平成 30 年度外来種対策事業（クジャク対策）は平成 30 年 4 月 2 日から平成 31 年 3 月 29 日の期間中、各種クジャク対策を実施した。クジャク対策のおもな項目は、探索犬を用いたクジャク営巣卵の探索および駆除、銃器等を用いたクジャク成体の駆除、クジャク繁殖期（春季）のクジャクの生息調査、クジャク捕獲個体の胃内容調査、クジャクの新規捕獲手法の検討とした。また、クジャク対策の成果および次年度以降の対策案等の内容の評価にあたり、専門家を含めた作業部を年間 2 回開催した。

探索犬を用いたクジャク営巣卵の探索および駆除作業には 4 頭の探索犬を用いた。当該調査は 4 月から 6 月までの期間中、21 日間で 122.4km の探索を実施し、33 巣 157 個の営巣卵を駆除した。

ねぐら調査および捕獲では、熱感知カメラを用いて 9 月から 2 月の期間中 15 日調査を実施した。確認個体のうち、ワイヤーで 26 羽、空気銃で 117 羽を捕獲した。

捕獲個体のうち 30 個体の胃内容調査を実施した結果、植物質は全 30 個体(100%)、動物質は 6 個体（20%）で検出され、黒島のクジャクはおもに植物質を捕食することが示唆された。

新規捕獲手法として、ネットランチャーおよびくくりわなによる捕獲を試行した。ネットランチャーでの捕獲はなかったが、くくりわなについては 5 羽を捕獲し、今後わなの捕獲効率の向上を目指し、試行していく。

クジャク生息調査は 2 月下旬に実施した。なお、今後の防除を行ううえでの基礎資料とするため、小浜島でも実施した。黒島では 31km のラインセンサスで 16 地点 57 羽、小浜島では 50km のラインセンサスで 33 地点 117 羽の生息を確推し、推定生息個体数は黒島で約 123 羽、小浜島で約 230 羽と算出された。黒島においては昨年度よりも生息数が減少したと推測されたため、駆除作業の成果が表れていることが示唆された。また、本業務では黒島においてドローンを用いた森林地域の生息調査を実施し、目視のみでは調査が困難な地域においても個体数の把握することが可能となった。

平成 30 年度外来種対策事業（クジャク対策）報告書

平成 31（2019）年 3 月

**沖縄県環境部自然保護課**

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2 番 2 号  
TEL 098-866-2243 FAX 098-866-2240

業務名 平成 30 年度外来種対策事業（クジャク対策）

請負者 株式会社南西環境研究所  
〒903-0105 沖縄県中頭郡西原町字東崎 4-4